千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（平成30年度事業）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価
達成	目標値≧100%	4	A
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B
やや不十分	目標値≧50%	2	C
不十分	目標値＜50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	達成値＜50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
			上段：達成値　下段：目標値							
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等		30年度実績	7件	4	A	
						館設定の目標	5件			
			2	資料の情報化・公開実績		30年度実績	3件	4		30年度はデジタルミュージアムに3件の新規コンテンツを追加した。
						館設定の目標	3件			
			3			30年度実績				
						前年度実績				
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出（外部機関等展示等）		30年度実績	19件	3	B	
						前年度実績	20件			
			5	館内利用（学術調査等）		30年度実績	13件	3		
						前年度実績	16件			
			6	著作物資料への利用（出版物掲載等）		30年度実績	25件	4		
						前年度実績	21件			
		調査研究	7	調査事業件数	件数	30年度実績	4件	4	C	風土記の丘資料館の1階常設展示の更新を8月に実施できた。
						前年度実績	4件			
			8	共同調査事業件数	件数	30年度実績				
						前年度実績				
			9	研究成果の公開状況	論文研究報告	30年度実績	0件	1		
						前年度実績	1件			
大項目Ｉの総合評価（A～D）									B	

博物館コメント	
	30年度より新システムへ移行し、デジタルミュージアムにおいて「常磐道の遺跡展」・「房総の民謡」・「町並み解説書」の3件を公開した。 今年度もホームページ上で順次公開していく予定である。 一方、調査研究の面では、事務遂行に多くの時間がさかれるため、悉皆調査等にあてる時間が取れず、しっかりとした基礎調査が行えていないのが現状である。

分類	大項目	中項目	小項目（上段：達成値　下段：目標値）			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
Ⅱ	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	30年度実績	253,240人	3	B	
						館設定の目標	260,000人			
			2	企画展（事業名）正月を迎える	入館者数	30年度実績	32,037人	2		正月にまつわる企画展のため、例年より約1ヶ月遅く、開始したこともあり、開館日も短く、閑散期に入ってしまったため
						前年度実績	48,952人			
			3	トピックス展等	入館者数	30年度実績	184,412人	4		
						前年度実績	142,202人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	30年度実績	1回	4	A	
						前年度実績	1回			
			5	企画展（事業名）正月を迎える	実施回数	30年度実績	1回	4		
						前年度実績	1回			
			6	トピックス展等	実施回数	30年度実績	2回	4		
						前年度実績	1回			
		総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度「とっても良かった」＋「良かった」の割合	30年度実績	98%	4	A	
			8	企画展（事業名）正月を迎える		30年度実績	98%	4		
			9	トピックス展等		30年度実績				トピックス展でアンケートは実施していないため未記入
大項目Ⅱの総合評価（A～D）									A	

博物館コメント

大きな変動はなく、何れの項目もほぼ目標値を達成しており、概ね良好で、増加傾向にある。
今後も体験演目の創意工夫と新規の事業で入館者が増えるよう努力する。30年度は、企画展「正月を迎える」を開催し、概ね好評であった。
また8月には風土記の丘資料館の常設展を一部更新し、浅間山古墳の石室模型と出土品の複製品を展示した。

分類	大項目	中項目	小項目			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
Ⅲ	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	30年度実績	100%	4	A	
						前年度実績	100%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	30年度実績	14件	4		
						前年度実績	14件			
大項目Ⅲの総合評価（A～D）									A	

博物館コメント

これまで課題であった外部資金は、29年度から千葉県酪農のさとの指定管理者である、株式会社ちば南房総から展示検討及び、体験演目の開発に関して資金の提供を受けた。令和2年度にトピックス展「房総の牧から酪農へ」を計画しており、酪農のさとでの関連展示も計画している。他に、周辺の観光施設や団体より賛助会員として13団体から資金提供を受けている。

分類	大項目	中項目	小項目			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
Ⅳ	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	30年度実績	85回	4	A	
						前年度実績	79回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	30年度実績	271,863件	4		
						前年度実績	115,546件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	30年度実績	46件	4		
						前年度実績	28件			
大項目Ⅳの総合評価（A～D）									A	

博物館コメント

大きな変動はなく、いずれの項目もほぼ目標値を達成しており、増加傾向にある。今後も館から情報発信を積極的に行っていきたい。

分類	大項目	中項目	小項目			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
			上段：達成値　下段：目標値							
V	学校及び地域（関係団体）との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	30年度実績	445校	3	B	
						前年度実績	455校			
			2		入館者数	30年度実績	27,226人	3		
						前年度実績	27,588人			
			3	生徒・児童	入館者数	30年度実績	68,199人	3		
						前年度実績	70,912人			
			4	博学連携（幼小中高への出前講座等）	学校数	30年度実績	1校	2		
						前年度実績	2校			
			5		利用者数	30年度実績	47人	4		
						前年度実績	40人			
		地域関係団体との連携	6	連携・共催（大学、NPO等）	団体数	30年度実績	24団体	3	B	
						前年度実績	27団体			
			7		利用回数	30年度実績	24回	3		
						前年度実績	27回			
			8		利用者数	30年度実績	83人	4		
						前年度実績	40人			
			9	友の会活動	利用人数	30年度実績	49人	3		
						前年度実績	56人			
			10	ボランティア活動	活動延人数	30年度実績	1,133人	3		
						前年度実績	1,169人			
大項目Ｖの総合評価（A～D）									B	

博物館コメント	
	学校団体利用は横ばい傾向にあるが、概ね良好である。今後、どう増加させるかが課題である。 一方、友の会活動やボランティア活動は停滞しており、今後、見直しが必要である。 また、2年前から当館とホテル日航成田間でバスを運行しているが、あわせて、ホテルロビーでの出前展示を行っている。 展示は5月の端午の節供には甲冑、7・8月は夏の涼を感じる風鈴など季節にあわせた展示を行っている。

分類	大項目	中項目	小項目			上段:達成値　下段:目標値	値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
Ⅵ	教育・普及活動	来館状況	1	講座	考古学講座	参加者数	30年度実績	144人	2	C	当日の天候不順により、参加者数が減じた。
							前年度実績	263人			
			2	講座	大道芸入門	参加者数	30年度実績	214人	1		屋外で実施を予定している演目が多く、当日の天気予報により、参加者数が減じた。
							前年度実績	444人			
			3	講座							
			4	体験教室	出張体験	参加者数	30年度実績	1718人	4	A	
							前年度実績	755人			
			5	体験教室	団体体験	参加者数	30年度実績	37666人	4		
							前年度実績	36883人			
			6	体験教室	ガイドツアー	参加者数	30年度実績	208人	4		
							前年度実績	122人			
			7	ワークシートを利用した「むら探検」		参加者数	30年度実績	19015人	3	A	
							前年度実績	19563人			
			8	体験		参加者数	30年度実績	121294人	4		
							前年度実績	107855人			
		総合的な満足度	9	講座	○○○○	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	○○年度実績				講座ごとにアンケートは実施していないため
			10	講座	○○○○		○○年度実績				
			11	講座	○○○○		○○年度実績				
			12	体験教室	○○○○	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	○○年度実績				
			13	体験教室	○○○○		○○年度実績				
			14	体験教室	○○○○		○○年度実績				
			15	○○○○		満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	○○年度実績				
			16	○○○○			○○年度実績				
		利用状況	17								
大項目Ⅵの総合評価(A～D)									B		
博物館コメント		考古学講座は毎回好評で、毎回参加しているリピーターも多い。また次年度は、龍角寺古墳群の企画展を予定しており、企画展と関連した考古学講座を実施していく。 最近では、校長会・教頭会を通じて、房総のむらを紹介する活動も行って普及活動に務めている。このほかにも、栄町立安食小学校や船橋県民の森、幕張メッセ、イオンモール津田沼店等での出張体験が好評で、毎年恒例になっている。									

分類	大項目	中項目	小項目（上段：達成値　下段：目標値）			値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習		30年度実績	4人	3	B	
						前年度実績	5人			
			2	教員等の研修		30年度実績	30人	4		
						前年度実績	28人			
			3	職場体験		30年度実績	30人	2		
						前年度実績	38人			
			4	インターンシップ		30年度実績	6人	4		
						前年度実績	6人			
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	30年度実績	20回	4	A	
						前年度実績	11回			
			6	防災訓練実施等	実施回数	30年度実績	1回	4		
						前年度実績	1回			
大項目Ⅶの総合評価（A～D）									A	
博物館コメント	研修会は年6回ある定期的な「まつり」などのイベント直前に内容の周知や注意喚起を促すための研修を行っている。 また、産業医による季節で気をつける病気や食中毒、などの研修を行った。 さらに、嘱託等職員研修を対象に、安全管理をはじめとした研修を5回実施した。									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込		30年度実績	170団体	3	A	
						館設定の目標	180団体			
			2			30年度実績	8,780人	3		
						館設定の目標	9,000人			
			3	外国人来館入込		30年度実績	109団体	4		
						前年度実績	71団体			
			4			30年度実績	8,645人	4		
						前年度実績	6,565人			
大項目Ⅷの総合評価（A～D）									A	
博物館コメント	外国人入館者数は年々伸びており、30年度は前年度比約30%増加している。特に、成田空港近隣のホテルと提携したバス送迎や、成田空港活用協議会の働きかけによるJRバス関東の房総のむらに立ち寄る周遊ルートの運用が、外国からの旅行者に定着しつつあり、安定確保につながっている。今後も連携機関の拡大に努めたい。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、訪日外国人の来館が見込まれるので、多言語対策と体験の充実を図っていきたい。									
総合評価（A～D）　［各達成度の平均］									A	
総合評価と次年度への対策	講座等でやや参加者が減じているが、全体の項目ではほぼ全ての項目で目標値を上回っており、良好な運営ができている。次年度も効果的な広報活動に務め、入館者等の増加につなげていきたい。									